

デジタル化・DX実践講座

～IT・クラウドを使ったデジタル化とその先にあるDX～

職場でのDXを考える際、職場で産み出される多種多量のデータを有効活用すること（デジタル活用）が最終目標ですが、実際にはその前の段階として多種多量のデータを継続的に取得し、体系化しておくこと（デジタル化）が必要です。つまりDX化は、まずデジタル化で、その次にデジタル活用という2段階構成となっているのです。

3月開催のワークショップで分かったことは、現在でも、現場では日々データは産み出されていますが、体系化がなされていない場合が多いことで、「同じデータを現場ごとで入力」とか、「紙をエクセルに替えただけ」とか、デジタル化（体系化）できていない場合の“あるある”が、課題として多く出てきました。

そこで、これら“あるある”を身近にあるクラウド環境を使って解決し、体系化をいかに実現するかについて実践的に学ぶ初心者向けの『デジタル化コース』（Aコース）を開講します。

一方、ワークショップでは、デジタル活用の段階での課題も出てきています。これに対しては、AI等の利用を前提とする、上級者向けの『デジタル活用コース』（Bコース）を希望者がある場合に開講します。

受講期間

令和3年5月～令和4年2月

受講時間

デジタル化コース（Aコース）13:30～15:30

デジタル活用コース（Bコース）16:00～18:00

受講場所

福井大学 文京キャンパス 総合研究棟Ⅲ（工学系1号館）

受講証明

全ての講座修了後、修了証をお渡しします。

講師

（株）永和システムマネジメント 医学教育支援室長 羽根田 洋 氏
国立大学法人福井大学 工学研究科長 福井 一俊 氏

※なお、この講座は、福井県からの支援を受けて開講するものです。

デジタル化コース（Aコース） 10回シリーズ

プログラミングスキル等の前提条件はありません。
どなたでも参加可能です。デジタル化初心者大歓迎です。

定員

10～13名

受講料 お一人様
30,000円

デジタル活用コース（Bコース） 10回シリーズ

（以下の条件で希望者がある場合、内容や人数に応じ開講の有無を判断させていただきます。）

- ・プログラミング経験が必要です。また、課題を出して、次の講座までに進捗させる必要もあります。
- ・このコースでは、受講者それぞれで達成したい目標や元データが異なります。講座で互いに学び合うためにはなるべく現実に近く、他の受講者に見られてもよい目標とデータ（機密情報は加工する。）を持ち寄ることが前提となります。

定員

5～7名

受講料 お一人様
50,000円

デジタル化コース（Aコース）

No	日程・講義室	テーマ	内容	準備物
1	令和3年 5月28日（金） 工学系1号館 1110S講義室	【2重入力をなくす】 情報の流れを 可視化する	・解決したい課題の可視化 ・情報の流れから威厳管理する対象と 入力タイミングを決める	
2	6月21日（月） 工学系1号館 118M講義室	プログラミング基礎	・GoogleAppsScriptとは？ ・プログラミング基礎	
3	7月19日（月） 工学系1号館 工学部多目的会議室	情報一元管理の 仕組みづくり①	情報をためる仕組み ・GoogleForm ・GoogleSpreadsheet 等、雛形をベースに作る	
4	8月23日（月） 工学系1号館 118M講義室	情報一元管理の 仕組みづくり②	情報を活用する仕組み ・帳票出力 ・メール配信 等、雛形をベースに作る	
5	9月29日（水） 工学系1号館 118M講義室	情報一元管理の 仕組みづくり③	情報を活用する仕組み②の続き	
6	10月25日（月） （以降調整中）	効果測定をする	実際使ってみて当初の狙いとのズレを確認	
7	11月26日（金）	【2重入力をなくす】 情報の流れを 可視化する	・今後の方向性の調整をする ・GoogleAppsScriptで作ったものを作り直す ・Appsheet 等、nocodeツールを活用する	
8	12月23日（木）	情報一元管理の 仕組みづくり	nocodeツールでの実装	
9	1月24日（月）	情報一元管理の 仕組みづくり	nocodeツールでの実装	
10	2月28日（月）	効果測定をする	実際使ってみて当初の狙いとのズレ確認 全体のまとめ	

【お申し込み方法】

- ・受講申込書に必要事項を記載の上、
令和3年5月14日（金）までに同窓経営者の会事務局宛に、メール又はFAXにてお送りください。
- ・お申し込み受付後、受講決定通知書をメールにてお送りします。
併せて、受講料の振込先もお知らせしますので、受講日までにお支払いください。

福井大学
同窓経営者の会



福井大学同窓経営者の会事務局
TEL：0776-27-9903
FAX：0776-27-8518
E-mail：dkeiei@ad.u-fukui.ac.jp



デジタル活用コース (Bコース)

No	日程・講義室	テーマ	内容	準備物
1	令和3年 5月28日(金) 工学系1号館 1110S講義室	AIの使いどころを 考える	<ul style="list-style-type: none"> ・実現したいことはなにか？ ・AIでないとできないか？ ・どんなデータが必要か？用意できるか？ ・業務効率化するか？ビジネス価値があるか？ ・モデル開発環境の構築をする 	解決したい 課題
2	6月21日(月) 工学系1号館 118M講義室	データを集める	<ul style="list-style-type: none"> ・自社データを使う ・ネットから情報を集める ・AIに入力しやすい形に整形する 	活用する データ
3	7月19日(月) 工学系1号館 工学部多目的会議室	モデルを学習する ①	<ul style="list-style-type: none"> ・何のデータを使って何を出力させるか設計する ・データをモデルに学習させる ・モデルに結果を出力させる ・出力結果の良し悪しを分析する 	PC
4	8月23日(月) 工学系1号館 118M講義室	モデルを学習する ②	作ったモデルを改善する	PC
5	9月29日(水) 工学系1号館 118M講義室	効果測定をする	<ul style="list-style-type: none"> ・業務で使えそうか？ ・どれくらいのユーザーが使っているか？ ・業務効率化、ビジネス価値に繋がっているか？ 	使ってみた 結果
6	10月25日(月) (以降調整中)	AIの使いどころを 再検証する	<ul style="list-style-type: none"> ・当初想定していた狙いとのギャップを確認する ・今後の方向性の調整をする 	当初設定し ていた課題
7	11月26日(金)	モデルを学習する	<ul style="list-style-type: none"> ・出力結果の良し悪しを分析する ・作ったモデルを改善する 	PC
8	12月23日(木)	効果測定をする	<ul style="list-style-type: none"> ・業務で使えそうか？ ・行効率化、ビジネス価値に繋がっているか？ 	使ってみた 結果
9	1月24日(月)	モデルを学習する	<ul style="list-style-type: none"> ・出力結果の良し悪しを分析する ・作ったモデルを改善する 	PC
10	2月28日(月)	効果測定をする	<ul style="list-style-type: none"> ・業務で使えそうか？ ・行効率化、ビジネス価値に繋がっているか？ ・講座全体のまとめ 	使ってみた 結果

【お申し込み方法】

・受講申込書に必要事項を記載の上、

令和3年5月14日(金)までに同窓経営者の会事務局宛に、メール又はFAXにてお送りください。

・お申し込み受付後、受講決定通知書をメールにてお送りします。

併せて、受講料の振込先もお知らせしますので、受講日までにお支払いください。

福井大学
同窓経営者の会

国立大学法人
福井大学
UNIVERSITY OF FUKUI

福井大学同窓経営者の会事務局
TEL : 0776-27-9903
FAX : 0776-27-8518
E-mail : dkeiei@ad.u-fukui.ac.jp

